

屋内タンク貯蔵所構造設備明細書

事業の概要					
タンクの構造・設備用	壁	延焼のおそれのある外壁		床	
		その他の壁		出入口	(しきいの高さ cm)
	屋根		その他		
建築物の一部にタンク専用室を設ける場合の建築物の構造		階数	設置階	建築面積	m <sup>2</sup>
		建築物の構造概要			
タンクの構造・設備	形状				常圧・加圧 ( kPa )
	寸法				容量
	材質、板厚				
	通気管	種別	数	内径又は作動圧	
				mm kPa	
	安全装置	種別	数	作動圧	
		kPa			
液量表示装置				引火防止装置	有・無
注入口の位置		注入口付近の接地電極		有・無	
ポンプ設備の概要					
採光、照明設備			換気、排出の設備		
配管					
消火設備			警報設備		
工事請負者住所氏名		電話			

コメント [予防(危) 1]:  
事業の内容について具体的に記入

コメント [予防(危) 2]:  
「タンク専用室の構造」欄のうち、その他の欄は、タンク専用室の建築面積を記入

コメント [予防(危) 3]:  
・建築物全体が屋内タンク貯蔵所になる場合は記入しない  
・建築物の一部に設置する場合 建物全体についての建物構造を記入

コメント [予防(危) 4]:  
次により記入  
・形状 タンクの形状を「角型」「縦置円筒型」等と記入  
・常圧・加圧 該当する形態を記入  
・寸法 当該タンクの寸法「縦×横×高さ」等を記入  
・容量 実容量 L  
・材質、板厚 胴・側・底・屋根それぞれ材質板厚を記入  
・通気管 種別は無弁通気管又は大気弁付通気管・数はタンクに設ける数・内径又は作動圧は内径及び作動圧をそれぞれ記入  
・安全装置 圧力タンクに該当するタンクについて記入(減圧弁・破壊板等の数・作動圧)  
・液量表示装置 フロート式液面指示計等を記入  
・引火防止金網 有・無に を記入

コメント [予防(危) 5]:  
・注油口の位置について記入  
例: 遠方注入口・タンク直上  
・注入口付近の接地電極は、有・無に を付ける

コメント [予防(危) 6]:  
ポンプ種類、基数を記入  
別でポンプ室を設ける場合はその概要

コメント [予防(危) 7]:  
・設置する採光及び照明の種類等を記入  
例: 防爆型蛍光灯 台  
・換気又は排出の種類、材質、個数等を記入

コメント [予防(危) 8]:  
材質、口径、接続方法、防錆・防食方法を記入

コメント [予防(危) 9]:  
・消火設備 設置する消火設備の種類・本数等を記入  
・警報設備 設置する警報設備の種類・数等を記入

コメント [予防(危) 10]:  
工事を請け負う法人の名称及び住所並びに工事責任者の氏名、電話番号を記入

備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とすること。  
2 建築物の一部にタンク専用室を設ける場合の建築物の構造の欄は、該当する場合のみ記入すること。